

PRESS RELEASE

2026年9月15日

新たな「注文流通ソリューション」の運用を開始

ーデータ活用による出版流通の効率化に向けた取り組みー

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

株式会社小学館（本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、株式会社PubteX（本社：東京都港区、以下「PubteX」）が提供する「注文流通ソリューション」を活用し、2026年10月（予定）より当社から書店へ一部商品を直送する新たな流通スキームの運用を開始いたします。

■注文流通ソリューションの概要と目的

PubteXの注文流通ソリューションは、販売データや在庫データを活用しながら、需要予測、受発注、物流を一体的に設計する新たな流通モデルです。出版社・書店がPubteXを介しデータを共有し、「初回の適正配本、売れ行きに応じて補充する」という考え方に基づき、サプライチェーン全体の最適化を図ります。まずは、PubteXが提供する推奨値を参考に、一部追加注文商品について当社から書店への直送運用を開始します。

これにより、返品削減、欠品による販売機会損失という長年の課題解決を目指すことで、流通の収益向上を図ります。また、読者の皆様に対し必要な書籍をより安定的にお届け出来る持続可能な流通体制の構築を模索してまいります。

■PubteXとの取り組み

PubteXは小学館、講談社、集英社の出資により設立され、これまでRFID（電子タグ）を活用した出版流通の高度化や業界DXの推進に取り組んできました。今回のソリューションは、これまで蓄積してきたデータ活用基盤を発展させる取り組みとして運用されます。

■今後について

本取り組みは、販売会社各社を中心とした既存の流通ネットワークとの連携を図りながら進める取り組みです。当社は今後、運用状況や効果を検証しながら、読者の皆様への安定供給と流通効率化の両立に向けた取り組みを進めてまいります。

参考資料：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000153364.html>

【このリリースについてのお問い合わせ先】 小学館広報室 TEL：03-3230-5870